

港区

ごみゼロ



リーダー

ニュース

第1号

平成27年2月発行

今号より、ごみゼロリーダーニュースは各区独自の発行となりました。今後は、より地域に密着した情報を皆様にお届けしてまいります。

この度、各連合町会長様のご協力そしてご推薦をいただき、第6期廃棄物減量等推進員（愛称：ごみゼロリーダー）として、168名の方々にご委嘱させていただきました。本来、4月に委嘱しなければならないところ遅れましたこととお詫びいたします。

その中、昨年11月25日（火）港区民センターにて開催された第1回港区廃棄物減量等推進員会議にて港区代表として前期に引き続き、波除連合の清正様が承認されました事をご報告申し上げます。

大阪市は集団回収活動を支援しています

資源集団回収活動は、ご家庭から出る新聞、雑誌、段ボール、チラシ、カタログ、包装紙、紙の箱、紙容器などの古紙や古布等の資源を、町会、自治会、子供会、マンション管理組合などの住民団体が、ボランティアで回収し、再生資源業者に引き渡すことにより、立派な資源として活かす事ができる活動です。

ごみの減量や資源の再利用のほか、環境教育や町の美化、地域のコミュニティづくりにも役立ちます。また、資源の売上金や大阪市からの支援品を有効に活用できます。



ごみゼロリーダーニュースは、「ごみゼロリーダーの活動を知って欲しい」「ごみのことをもっと知って欲しい」「ごみの減量・リサイクルに取り組んで欲しい」という思いから発行いたしました。

このニュースをきっかけに、ご家庭で、地域で、減量・リサイクルの環が広がっていけば嬉しく思います。



ごみゼロリーダーロゴマーク

ごみゼロリーダーを中心に、それを取り巻く3本の手が一体となって、発生抑制（リデュース）、再使用（リユース）、再生利用（リサイクル）の3Rに取り組み、ごみの減量・リサイクルの環を構築する姿と、循環型社会の形成に向けた3Rの基本原則を表します。

推進員施設見学会のお知らせ

平成27年3月6日（金） 港・西・大正区内に廃棄物減量等推進員の皆様を対象にした実施研修として施設見学会を開催します。

今回は、3区でバス1台となりますが、この機会に他区の推進員の方との交流を図っていただければ幸いです。

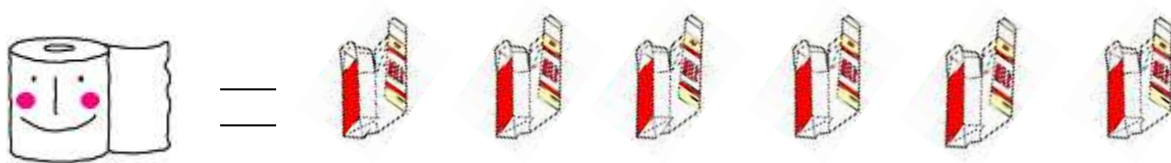
見学場所は、泉南市にあります㈱リバースで主に古紙を利用してトイレットペーパーが作られる工程を見学していただきます。

見どころは、集積された紙パックや古新聞等が、どのような行程を経て綺麗なトイレットペーパーに生まれ変わるのか、またその製造課程で排出される、汚水やごみは、どうなるのかを見ていただきたいと思います。



豆知識・・・トイレットペーパーを1ロール作るのに必要な紙パックの数をご存じですか？

答は、6枚です。わずか6枚の紙パックで非常に良質なトイレットペーパーが1ロールできます。



ごみゼロリーダーの役割とは？

よくお聞きするのが、ごみゼロリーダーになったものの「具体的に何をすれば、いいの？」という疑問です。

- ① ごみ減量（発生抑制・リデュースなどの3R）の普及啓発
⇒「ごみ減量アクションプラン」を活用した地域での学習会の実施など
- ② 再使用（リユース）、再生使用（リサイクル）の実践活動の促進
⇒資源集団回収やガレージセール等、不用品交換会の開催など
- ③ 分別収集の排出促進
⇒大阪市が実施している資源ごみ収集や容器包装プラチック収集、古紙衣類収集への排出協力等の啓発
- ④ ごみ減量・リサイクルなどに関する意見及び情報の提供
⇒環境事業センターに意見・要望の提供及び学習会での情報を地域の皆さんへ提供
- ⑤ 美化活動の取組み促進
⇒大阪市一斉清掃（クリーンアップ作戦等）の啓発など地域での美化に関する活動促進主に以上の事柄を環境局と協働しながら地域での啓発に取り組んでいただきます。

《編集・発行》

大阪市 西部環境事業センター

大阪市大正区小林西1丁目20番29号

TEL:06-6552-0901 FAX:06-6552-1130

<http://www.city.osaka.lg.jp/kankyo/index.html>

